



2024年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月6日

上場会社名 エコートレーディング株式会社

上場取引所 東

コード番号 7427 URL <http://www.echotd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 実

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経理財務本部長 (氏名) 小野 善治 TEL 0798-41-8317

四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 2023年11月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の連結業績(2023年3月1日～2023年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	53,581	13.8	1,044	156.8	1,058	154.7	741	156.9
2023年2月期第2四半期	47,080		406	41.7	415	41.1	288	61.8

(注) 包括利益 2024年2月期第2四半期 793百万円 (175.6%) 2023年2月期第2四半期 287百万円 (19.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	123.05	
2023年2月期第2四半期	47.90	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。この影響により、2023年2月期第2四半期の売上高については、当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前年四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	34,689	10,293	29.6
2023年2月期	31,667	9,583	30.2

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 10,270百万円 2023年2月期 9,553百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期		11.00		13.00	24.00
2024年2月期		14.00			
2024年2月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,987	9.3	1,750	103.9	1,789	99.4	1,217	106.1	201.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期2Q	6,036,546 株	2023年2月期	6,036,546 株
期末自己株式数	2024年2月期2Q	10,445 株	2023年2月期	10,445 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期2Q	6,026,101 株	2023年2月期2Q	6,026,101 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に引き下げられるなど、ウィズコロナのもと行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化が一段と進み、個人消費やインバウンド需要が回復するなど、景気は持ち直しの動きが見られました。一方、長期化する地政学的リスクによるエネルギー資源・原材料価格の高騰、金融資本市場の変動などの影響に十分注意する必要があり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

ペット業界におきましては、犬の飼育頭数減少、原油・原材料価格の高騰による仕入価格の上昇、人手不足による人件費増加に加え電気代や配送費など様々なコスト上昇が継続しており、ペット市場を取り巻く経営環境は依然として厳しい環境が続いております。

こうした状況の下、2024年2月期は「基本の徹底、そして成長へ」をスローガンとする新中長期経営計画の折り返しとなる3年目であり、「基本の徹底」によるローコストオペレーションに加え、「成長戦略」としては、デジタル化社会での経営戦略として「CED (Communication, Education/Entertainment, Design)」をコンセプトにおいた事業展開を更に推し進めることで他社との違いを明確にし、世界に発信できるマーケティング・デザイン・カンパニーとして、あらゆる角度からお客様をサポートしてまいります。

ペットフード・ペット用品の卸売事業につきましては、営業本部をヘッドクォーターとする本部制を更に強化するとともに、単品管理の徹底による安定した利益の創出、物流センターの運営や配送ルートなどの見直しによる物流コストの抑制を積極的に進め、更なる利益改善に取り組んでまいりました。

イベント事業につきましては、『みんな大好き!! ペット王国2023』を本年5月3日から4日にかけて開催いたしました。コロナ禍により2020年・2021年と休止しておりましたが今回で開催17回目を迎え、動員数では2日間で約4万人に達する一大イベントにまで成長し、ペットとの生活の素晴らしさや、ペットと暮らす効用を実感・体験出来る『人とペットのふれあいの場』を提供するイベントとして本年も多くの生活者様にご来場頂いております。

一方、ペッツバリュー株式会社では、「ペットオーナーの悩みに寄り添えるお店」をコンセプトに店舗開発事業におけるサービスレベルの向上に取り組み、管理店舗数は260店舗となっております。また、商品部では既存商品の拡販に努めてまいりました。

また、株式会社I & Iでは、お客様へのプロモーション戦略の強化並びに新たなチャネル開拓への取り組みにより、卸売事業の販売促進企画に注力するとともにペッツバリュー株式会社から移管した商品開発事業部では、「あ!これいいね。」をコンセプトとした今までにない価値を提案するオリジナル商品の開発に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、価格改定による商品単価の上昇、ライフステージや機能性に着目した高付加価値商材の拡大などにより、535億8千1百万円（前年同期比13.8%増）となりました。また、単品管理の徹底による利益の創出、物流コスト上昇の抑制とともに配送ルートの見直し、在庫管理の徹底による適正在庫での運用及び更なる効率化により、営業利益は10億4千4百万円（前年同期比156.8%増）となりました。

経常利益は10億5千8百万円（前年同期比154.7%増）となり、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億4千1百万円（前年同期比156.9%増）となりました

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ30億2千1百万円増加し、346億8千9百万円となりました。これは、主に現金及び預金が1億5千8百万円、受取手形及び売掛金が24億5千6百万円、商品が3億4千2百万円、未収入金が1億6千万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ23億1千1百万円増加し、243億9千5百万円となりました。これは、主に短期借入金6億円、賞与引当金が2億2千8百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が29億2千7百万円、未払金が3億9千7百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億9百万円増加し、102億9千3百万円となりました。これは、主に利益剰余金が6億6千3百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年9月29日付「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,688,549	3,846,997
受取手形及び売掛金	20,104,694	22,561,313
商品	3,098,894	3,441,215
貯蔵品	10,150	8,578
未収入金	2,454,549	2,615,317
その他	60,607	78,386
貸倒引当金	△15,477	△21,350
流動資産合計	29,401,969	32,530,460
固定資産		
有形固定資産	1,191,325	1,174,753
無形固定資産	56,362	52,072
投資その他の資産	1,018,082	931,931
固定資産合計	2,265,771	2,158,757
資産合計	31,667,740	34,689,217
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,992,141	16,920,073
短期借入金	3,700,000	3,100,000
未払金	2,994,891	3,392,444
未払法人税等	365,898	267,472
賞与引当金	322,214	93,666
役員賞与引当金	43,000	—
その他	382,520	332,493
流動負債合計	21,800,666	24,106,150
固定負債		
その他	283,275	289,685
固定負債合計	283,275	289,685
負債合計	22,083,941	24,395,835
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,988,097	1,988,097
資本剰余金	1,944,862	1,945,372
利益剰余金	5,398,275	6,061,446
自己株式	△447	△447
株主資本合計	9,330,788	9,994,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,319	275,910
その他の包括利益累計額合計	222,319	275,910
非支配株主持分	30,690	23,001
純資産合計	9,583,798	10,293,381
負債純資産合計	31,667,740	34,689,217

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	47,080,251	53,581,962
売上原価	41,686,859	47,320,827
売上総利益	5,393,391	6,261,134
販売費及び一般管理費	4,986,802	5,216,900
営業利益	406,589	1,044,234
営業外収益		
受取利息	1,417	692
受取配当金	6,043	7,138
業務受託料	13,026	12,689
その他	10,770	17,793
営業外収益合計	31,257	38,314
営業外費用		
支払利息	12,541	11,364
その他	9,487	12,256
営業外費用合計	22,029	23,620
経常利益	415,817	1,058,928
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,002
特別利益合計	—	6,002
特別損失		
固定資産除却損	261	0
特別損失合計	261	0
税金等調整前四半期純利益	415,556	1,064,930
法人税、住民税及び事業税	126,302	225,776
法人税等調整額	80	99,497
法人税等合計	126,383	325,273
四半期純利益	289,173	739,657
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	494	△1,853
親会社株主に帰属する四半期純利益	288,678	741,510

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	289,173	739,657
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,349	53,591
その他の包括利益合計	△1,349	53,591
四半期包括利益	287,824	793,248
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	287,329	795,102
非支配株主に係る四半期包括利益	494	△1,853

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	415,556	1,064,930
減価償却費	39,511	31,242
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,328	5,872
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,806	△228,548
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,000	△43,000
受取利息及び受取配当金	△7,460	△7,831
支払利息	12,541	11,364
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△6,002
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,056,381	△2,456,618
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△379,530	△340,749
未収入金の増減額 (△は増加)	△237,875	△164,546
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,264,003	2,934,222
未払金の増減額 (△は減少)	330,436	412,643
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△57,102	△32,082
その他	△289	△76,239
小計	295,274	1,104,657
利息及び配当金の受取額	6,593	7,831
利息の支払額	△12,277	△10,900
法人税等の支払額	△102,977	△324,645
法人税等の還付額	496	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	187,110	776,942
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,958	△13,627
無形固定資産の取得による支出	△11,940	△6,418
投資有価証券の取得による支出	△4,591	△4,937
投資有価証券の売却による収入	26	5,660
保険積立金の積立による支出	△343	△114
保険積立金の解約による収入	14,695	92,853
その他	△17,015	△2,768
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,127	70,646
財務活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△5,326
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△600,000
配当金の支払額	△72,404	△78,330
その他	△8,754	△5,484
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81,158	△689,140
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	84,823	158,448
現金及び現金同等物の期首残高	3,633,371	3,688,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,718,195	3,846,997

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。